

JMS NOTES



「人と医療のあいだに・・・」

第47期 事業のご報告
平成23年4月1日～平成24年3月31日

JMS
www.jms.cc

「人と医療のあいだに…」

JMSは、患者様と医療従事者の皆様の立場にたった製品づくりに努め、命の大切さを見つめています。



半固形状栄養材注入システム ▶ ジェイフィード ペグアシスタを新発売

本年4月、粘度の高い半固形状栄養材を簡単に患者様へ注入できる、経腸栄養システム機器「ジェイフィード ペグアシスタ」を販売開始しました。当製品は、食物を経口摂取できない患者様を対象に、手動式で、安全・簡単・経済的に、胃瘻(いるう)カテーテルを介して胃や腸に栄養材を直接注入できる医療機器です。詳しくは、研究開発現場より(p08-09)をご参照ください。

経腸栄養

経口摂取が不可能あるいは困難な患者様に対して水分や栄養材などを投与するため、鼻腔や口腔から挿入した細い管もしくは、胃瘻カテーテル(PEG/ペグと呼ばれる手術により腹部に小さな穴を開けて胃へ挿入された管)を通して、胃や腸などの消化器官へ栄養材を注入すること。



「ジェイフィード ペグアシスタ」と専用栄養セット

東北大学に寄附講座を開設

当社は本年4月に、国立大学法人東北大学(宮城県仙台市)に「統合腎不全医療寄附講座」を開設しました。

同講座では、東日本大震災を教訓に、在宅で行える透析療法を普及させるための具体的な研究テーマの創造としくみ作りを行うことにより、透析患者様の環境に合った透析療法による体の負担軽減やQOL向上につなげることを目指しています。研究期間は2015年3月までの3年間。担当は、腎・高血圧・内分泌学が専門の伊藤貞嘉教授です。

《寄附講座》

大学における教育・研究の豊富化、活性化が図られることを目的として、民間企業などからの奨学寄附金により学内に設置される研究組織。

《QOL》

Quality of Life(生活の質)

本格化する高齢社会を前に

わが国の人口の最多層を占める団塊の世代(1947~1949年生まれ)が65歳を超える本格的高齢社会を前に、本年4月、診療報酬と介護報酬が改定されました。
 本格化する高齢社会にどのように向き合っていけばよいのか、高齢社会の現状と国の施策、当社の対応をご紹介します。

▶ 高齢化が進む日本社会

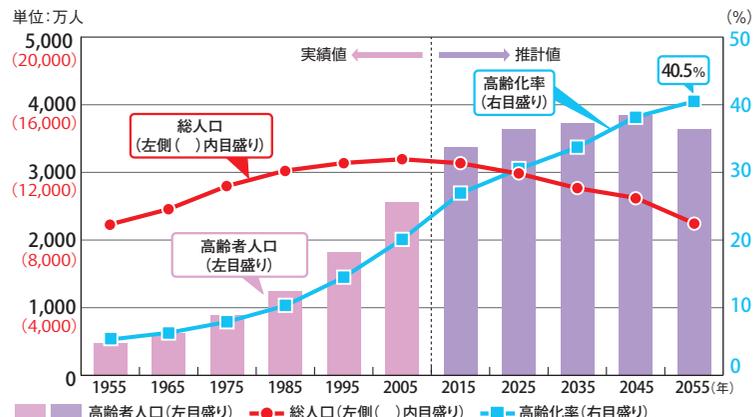
日本の総人口は、2011年10月1日現在で1億2,779万人。そのうち65歳以上の高齢化率^{※1}は23.3%で、1950年以来、過去最高となっています。それが2055年には40.5%に達し、国民の2.5人に1人が65歳以上になると推測されています。その要因は、大きく分けて①平均寿命^{※2}の延伸による65歳以上人口の増加と、②少子化の進行による若年人口の減少にあります。中でも子どもの出生数は減少幅が大きく、2010年の93.5万人が2055年には45.7万人と推計されており、高齢化がさらに進んでいきます。

※1.総人口に占める65歳以上人口の割合。 ※2.平均寿命は、2010年現在、男性79.55歳、女性86.30歳、2055年は男性83.67歳、女性90.34歳と推計。

▶ 高齢化に伴う国民医療費の増大化

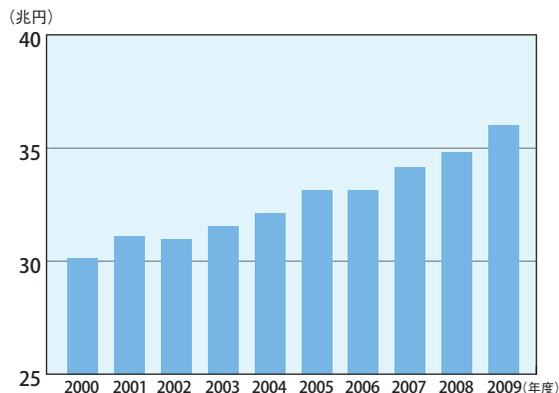
医療技術の進歩などにより平均寿命が伸びる一方で、高齢者はがん、脳卒中、心臓病、糖尿病などの病気になりやすく、高齢者の患者数(入院、外来)は65歳以下の世代とは逆に上昇の一途をたどっています。こうした状況から国民医療費の増大化による健康保険制度の破綻も懸念され、その対策として、国は2011年、「将来像に向けての医療・介護機能再編の方向性イメージ」(p03図参照)を策定。地域を主体にした、医療と介護の連携によるサービス体制の基本理念が示されています。

▶ 高齢化の推移と未来設計



※参考資料: 2005年までは総務省「国勢調査」、2010年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

▶ 国民医療費の推移



※参考資料: 「平成21年度国民医療費の概況」(厚生労働省)

▶「早期退院」と「在宅医療」の充実化

本年4月、診療報酬と介護報酬が同時に改定^{※3}されました。そのポイントは、国民医療費の抑制と医療・介護機能の再編です。その軸となるのが「早期退院」と「在宅医療」の推進です。早期退院が実施されれば必然的に在宅療養者が増え、在宅に向けたさまざまな医療・介護支援が必要となります。それを見据えて、「地域包括ケア」という考え方のもとに医療機関や地域と連携した「在宅医療」サービスのあり方が、いま、さまざまに模索されています。

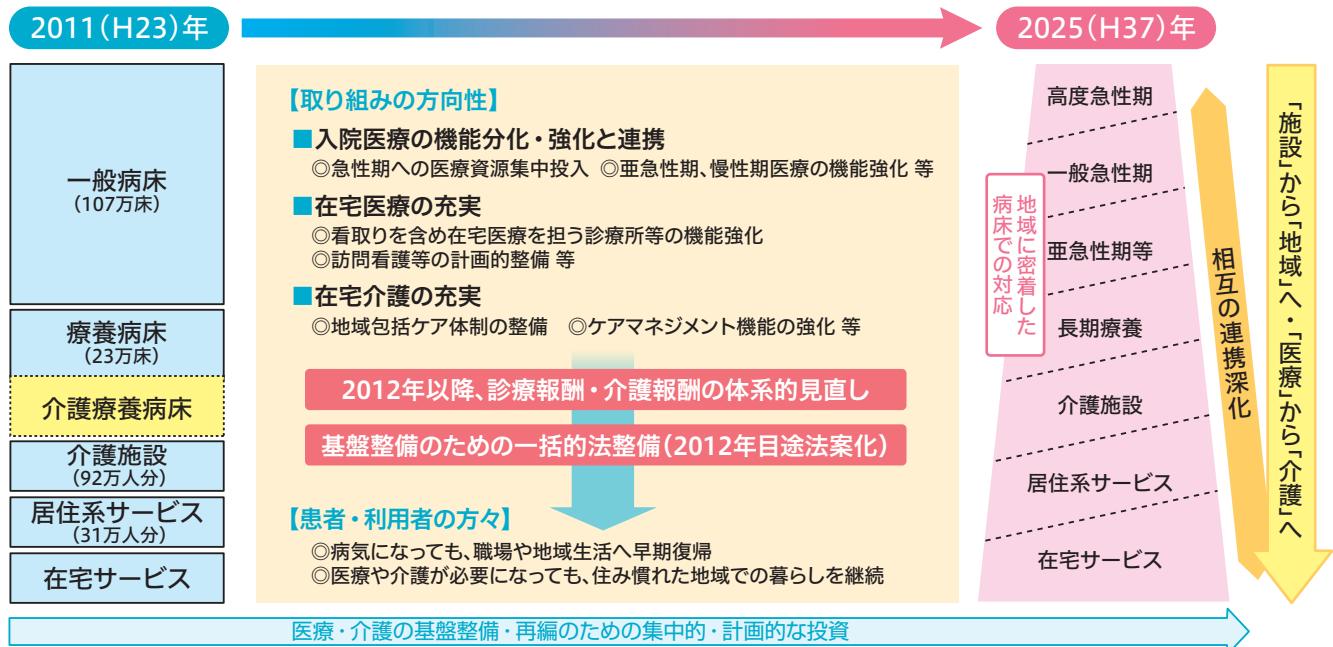
※3. 診療報酬は2年に1度、介護報酬は3年に1度改定。2012年は6年に1度の同時改定の年にあたる。

▶病院から在宅へ。医療環境の変化と拡大

高齢者の方にとっての「在宅医療」とは、住み慣れた自宅で療養しながら、その人らしい生き方を継続しようとするもの。それには「医療」と「介護」、「施設」と「地域」が連携を深めた、高齢者一人ひとりのニーズに応じたサービスの提供が不可欠となります。今年度から新たに24時間対応の訪問介護・看護サービスや、介護士による一部、医療サービスも導入されました。つまり、“病院に頼る医療”から“在宅を支える医療”という新たな医療環境へのシフトがはじまっているのです。

将来像に向けての医療・介護機能再編の方向性イメージ

患者ニーズに応じた病院・病床機能の役割分担や、医療機関間、医療と介護の間の連携強化を通じて、より効果的・効率的な医療・介護サービス提供体制を構築。



※参考資料：「診療報酬と介護報酬の同時改定に向けて」(厚生労働省)

高齢社会を支え、貢献するために

▶ 高齢社会における医療環境の変化への対応

本格化する高齢社会に、医療機器メーカーとしてどのような貢献ができるのか。それは「人と医療のあいだに…」を創業精神とする当社の主要なテーマの一つです。

いま、国の施策により「在宅医療」が推進されていますが、当社には病院での感染・医療事故の防止、治療や看護の効率化を担ってきた実績と技術力があります。今後、高齢社会における新たなニーズに対応し、在宅での医療支援、医療負担の軽減につながる製品開発にさらに注力していきます。

▶ 「在宅医療」を支えるJMS製品群

今後、「在宅医療」が高齢社会における医療環境として定着していけば、対応する医療機器や多様なサービスの提供が求められます。当社では、すでに在宅医療をサポートできる製品群をラインアップ。例えば、『ジェイフィード ペグアシスタ』は在宅で活用できる経腸栄養関連製品であり、人工透析を在宅で行える腹膜透析製品もあります。こうした当社の製品群が医療のサービスの質、患者様のQOL(生活の質)の向上にこれまで以上に貢献できると考えています。

「ジェイフィード栄養剤用バッグ」

経腸栄養
関連製品



「ジェイフィード ペグアシスタ」

在宅透析
関連製品



接続補助装置「テデタン」

腹膜透析液

「JMS個人用透析装置 SD-300」

輸液関連
製品



携帯型精密輸液ポンプ「アイフューザー プラス」

※特集の参考資料:「平成23年版 高齢社会白書」(内閣府)

在宅生活を健やかに、快適にお過ごしいただくために

腹膜透析の患者様や 高齢者の方々をサポートしています。

当社のホームページトップから「腹膜透析情報サイト」にアクセスしていただければ、腎臓の病気や腹膜透析についてわかりやすく解説したページをご覧になれます。また、「腹膜透析情報サイト」では「お食事関連情報」として栄養管理や献立集も掲載していますので、健康の維持・管理に、ぜひお役立てください。



「お食事関連情報」
腹膜透析情報サイト

JMSのトップページにある
上記のバナーを
クリックしてください。

JMSホームページ
<http://www.jms.cc/>

健やかな夏に
おいしい一品

今回ご紹介する料理は、糖尿病などの方はもちろん、高齢者の方や健康な方にもおすすめの栄養バランスに配慮した夏向き一品。ご家族そろって楽しくお召し上がりください。

豚ロースの野菜巻き焼き[2人分]

ビタミンB1を多く含む豚肉料理は夏バテ防止にも効果的!

材料

- 豚ロース90g
- ジャがいも60g
- マヨネーズ(全卵)14g
- ごぼう40g
- アスパラ30g
- 生姜汁10g
- コショウ0.5g

- A**
- かつお昆布だし100g
 - 砂糖3g
 - みりん3g
 - 濃口醤油4g

- B**
- かつお昆布だし10g
 - 砂糖3g
 - みりん3g
 - 濃口醤油12g

作り方

- 1 豚肉は生姜汁で下味をつける。
- 2 ジャがいもは皮をむき、1cmの輪切りにして茹で、熱いうちにつぶしてマヨネーズとコショウで味を調える。
- 3 ごぼうは4~5cmの長さの千切りにして **A** で調味し、きんぴらを作る。
- 4 アスパラは4~5cmの長さに切り、色よく茹でる。
- 5 豚肉を広げ、1枚は **2** を、1枚は **3** を、1枚は **4** を芯にして巻き、同じ物を2組作る。
- 6 フライパンを熱し、油をひいて **5** をこんがり焼く。
- 7 フライパンに **B** の調味料を入れて熱し、沸騰したら **6** を入れて絡める。
- 8 器に盛り、パセリを飾って出来上がり!



栄養価 (1人当り)	エネルギー (kcal)	タンパク質 (g)	カリウム (mg)	リン (mg)	塩分 (g)
	251	11.2	453	140	1.4

POINT

お好きな調味料を絡めたり、
辛子醤油やバルサミコソースを
つけてもお召し上がりいただけます。

プレフィルドシリンジ製剤の普及を通じて、医療の安全と安心に貢献。

人工透析用プレフィルドシリンジ製剤「ヘパフィルド」のラインナップを強化

当社は、人工透析の際に使用されるプレフィルドシリンジ製剤「ヘパフィルド」に、「ヘパフィルド透析用150単位/mLシリンジ20mL」及び「ヘパフィルド透析用200単位/mLシリンジ20mL」の2規格を追加し、2011年12月より販売を開始しました。

「ヘパフィルド」は、人工透析の際に体外循環する血液の凝固を阻止するヘパリンナトリウムが充填されたプレフィルドシリンジ製剤です。新たに2つの濃度(単位)の規格が加わることで、医療現場のニーズにより細かく対応できるようになりました。

◎プレフィルドシリンジ製剤とは？

治療に必要な薬剤がシリンジ(注射筒)にあらかじめ充填された状態で医療現場に提供される製剤です。薬剤をアンプルなどから吸い上げる必要がなく、シリンジに薬剤名や濃度、容量、使用期限などが表示されているため、「薬剤の取り違え・誤投薬などの医療事故の防止」、「異物混入・細菌感染のリスク軽減」など、医療の安全と安心に貢献する製品として医療現場での普及が進んでいます。



緑／ヘパフィルド透析用150単位/mLシリンジ20mL
黄／ヘパフィルド透析用200単位/mLシリンジ20mL
青／(既存品)ヘパフィルド透析用250単位/mLシリンジ20mL

株ジェイ・オー・ファーマ新工場棟を建設

医療現場での普及が進むプレフィルドシリンジ製剤の増産に対応するため、当社の関連会社(株)ジェイ・オー・ファーマ(本社：島根県出雲市)が新工場棟を建設します。

地域経済の発展及び新たな地域雇用の創出につながることから、島根県、出雲市からも期待されています。新工場棟の稼働開始は2013年5月の予定です。

■新工場棟の概要

場 所	島根県出雲市下古志町127番地1
敷地面積	約9,400㎡
建物面積	約5,900㎡
投下資本額	約25億円
増員予定	35名



新工場棟の建設イメージ図

各地でセミナーを開催

- ▶ 2011年12月10日(土)
感染・医療事故防止セミナー 2011 in 近畿……………[神戸]
 特別講演／院内感染をめぐる医療訴訟～感染管理に関する記録の重要性～ 中村・平井・田邊法律事務所 中村 隆 先生

各種学会や展示会に出展

- ▶ 2011年9月24日(土)～25日(日)
第17回 日本腹膜透析医学会学術集会・総会……………[埼玉]
- ▶ 2011年10月8日(土)～9日(日)
第37回 日本体外循環技術医学会大会……………[名古屋]
- ▶ 2011年10月9日(日)～12日(水)
第64回 日本胸部外科学会定期学術集会……………[名古屋]
- ▶ 2011年10月14日(金)～16日(日)
第73回 日本血液学会学術集会……………[名古屋]
- ▶ 2011年10月20日(木)～22日(土)
第35回 日本血液事業学会総会……………[埼玉]
- ▶ 2011年11月3日(木)～5日(土)
日本臨床麻酔学会 第31回大会……………[沖縄]
- ▶ 2011年11月4日(金)～5日(土)
第25回 日本手術看護学会年次大会……………[名古屋]
- ▶ 2011年11月13日(日)～15日(火)
第56回 日本未熟児新生児学会・学術集会……………[東京]
- ▶ 2011年11月25日(金)～27日(日)
第49回 日本人工臓器学会大会……………[東京]
- ▶ 2012年2月3日(金)～4日(土)
第27回 日本環境感染学会総会……………[福岡]
- ▶ 2012年2月28日(火)～3月1日(木)
第39回 日本集中治療医学会学術集会……………[千葉]

▶ 第27回 日本静脈経腸栄養学会

と き／2012年2月23日(木)～24日(金)
 ところ／神戸ポートピアホテルほか
 テーマ／栄養療法ルネサンス
 ～治療する側・受ける側～



本年2月23日(木)～24日(金)に神戸市で開催された第27回日本静脈経腸栄養学会に出展しました。企業展示ブースでは、多くの医療関係者の皆様で賑わい、新製品を含め当社主力製品のひとつである経腸栄養システム製品や輸液システム製品などを広く紹介しました。

研究開発現場から

JMSでは、次世代のニーズに対応する技術開発をめざして(セーフティ輸液・経腸栄養関連)(循環器関連)(再生医療関連)の3分野を重点課題とする他、透析関連・医療IT関連・環境対応などの多様な分野の研究に努めています。今回は、嚥下機能障害などのある患者様の容態に合わせて、手作りの家庭食や市販の栄養材を投与できる「ジェイフィード ペグアシスタ」をご紹介します。

患者様に「食」の喜びを感じていただける

半固形状栄養材注入システム

ジェイフィード ペグアシスタ

私たちにとって、日々の食事は必要な栄養分をとるため、また生きる喜びにつながる大切な生活習慣です。しかし、脳梗塞の後遺症や嚥下(えんげ)機能障害などで食物をうまく飲み込めない患者様が口から食物を摂取すると、嘔吐や誤嚥(ごえん)性肺炎などの合併症を発症する恐れがあります。そのため、お腹と胃をつなぐ穴(胃瘻(いろう))を開けて胃瘻カテーテルを装着する手術(PEG/ペグ^{※1})を行い、胃瘻カテーテルを通して胃や腸に直接、栄養材を注入する経腸栄養療法が施されています。

しかしながら、患者様に栄養材を注入する際、粘度の低い栄養材は胃に貯留しにくく、逆流して嘔吐や誤嚥性肺炎を生じやすいという難点があります。そのため塊(かたまり)として胃に貯留しやすい半固形状の栄養材が求められ、近年は、より生理的に、咀嚼(そしゃく)嚥下^{※2}した食事のような、粘度の高い半固形状栄養材も販売されています。

ただ、こうした半固形状栄養材を注入器(注射器状の器具)などの器具で注入する時には、強い力が必要となり、胃瘻カテーテルに接続した栄養セットとの接続部から栄養材が漏れる場合があります。また、注入器具として加圧バッグ^{※3}も販売されていますが、市販の充填済栄養材にしか使用できないという問題があり、経済的な負担も少なくありません。

家族と一緒に食事をするように栄養投与したい

「ジェイフィード ペグアシスタ」は、こうした問題を解決し、患者様の嗜好を満たしながら、栄養材をより安全・簡単・経済的に注入でき、患者様と介助者が対面して「家族と一緒に食事をするように栄養投与したい」という願いを受けて開発されました。

※1. 経皮的内視鏡下胃瘻造設術。

※2. 口の中で噛み砕いて飲み込むこと。

※3. 送気球付の風船状器具。備付けのポケットに栄養材の入ったバッグを入れ、送気球で加圧し充填済バッグを押し潰して栄養材を注入する。



「ジェイフィード ペグアシスタ」と専用栄養セット

半固形状栄養材の例

●市販の充填済の製品



●液体の栄養材に半固形化材を添加したもの



●食事のミキサー食



NEW!
ココに新技術 1

高粘度の栄養材を注入できるシステム

当製品は、市販の栄養材はもちろん、ご家庭で調理した料理をミキサーしたものも、患者様に注入できます(注入システム図を参照)。

また、摂取成分に制限のある病態の患者様には、それぞれに適した食材や栄養素で調製した栄養材を用意することができます。

さらに、粘度の高い栄養材は最後の少量がボトル内に残りやすいため、栄養材の上にボトルフロート^{※1}を乗せ、栄養材を残さず胃内に注入できる工夫が施されています。

※1. 落とし蓋のように栄養材の液面に浮かべるパーツ。

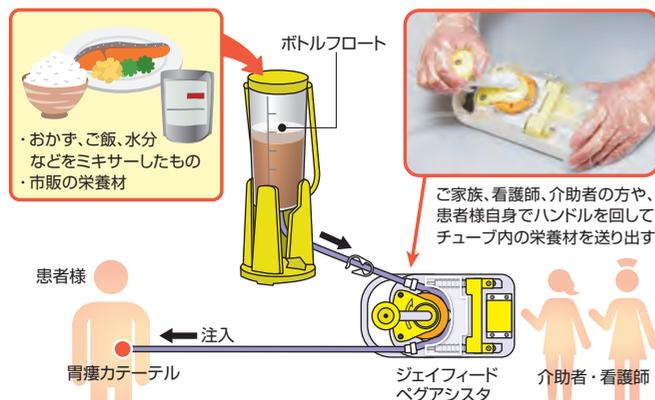
NEW!
ココに新技術 2

手回しで安全に注入できるシステム

このシステムは、ハンドルを手で回し、ローラーでチューブ内の栄養材を送り出すしくみです。

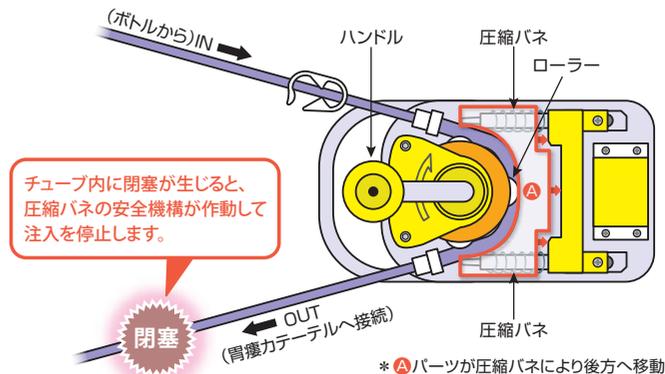
手回しであれば、介助者が患者様の容態を見ながら注入速度を調整でき、患者様の急な容態変化にも対応できます。また、チューブ内に過剰な圧力がかかると、圧縮バネが作動して栄養材の注入を停止し、チューブ内の圧力上昇を防ぎ、患者様への影響や接続の外れ、デバイスの破損を防止する安全機構も内蔵されています(しくみ図を参照)。

ジェイフィード ペグアシスタ注入システム図



家庭料理を利用すれば、経済的負担が軽減されるだけでなく、患者様自身に「食」の喜びが生まれて家族との一体感を実感でき、患者様の生活行動が目に見えて改善された、という嬉しい声も届いています。

ジェイフィード ペグアシスタしくみ図



当製品は、子どもから高齢者まで使用することができ、電源が不要なため使用場所も選びません。病院や介護施設のベッドサイドやご家庭の食卓で、容態が許せば外出先でご家族や介助者と一緒に食事をすることができます。



コラム
消化器官には
バリア機能が備わっています

人間の消化器官には、栄養素の消化・吸収機能だけでなく、免疫力を維持し細菌感染を防止するバリア機能が備わっています。消化器官を活用することで免疫低下を防止できることから、栄養を経口摂取できない患者様に対して胃や腸への栄養注入は生理的であると考えられています。

平成23年度中国地区「省エネルギー月間」において「中国経済産業局長表彰」を受賞しました。

当社の省エネの取り組みを高く評価

当社は、「エネルギーの使用の合理化に関する法律」(以下、省エネ法)に基づき、2010年4月に特定事業者に指定され、今日まで数々の施策を講じ全社的にエネルギー使用の合理化を進めてまいりました。

そうした取り組みの中で、本年2月16日、平成23年度中国地区「省エネルギー月間」^{※1}表彰式において、第1種エネルギー管理指定工場^{※2}である三次工場がエネルギー管理優良事業者として、「中国経済産業局長表彰」を受賞しました。

同賞は、エネルギー管理の推進についてその成果が多大である事業所に贈られるもので、このたび三次工場の省エネ施策の結果が評価されました。

省エネ法の目標値を大きくクリア

省エネ法が求める目標値は、中長期的に見て年平均1%以上のエネルギー消費原単位^{※3}の低減であり、三次工場では2010年度において前年度比4.8%の低減を実現しました。

しかしながら、昨年の東日本大震災の影響もあり全国的に省エネ活動がより一層求められていることから、当社もこれまで以上に高い目標を掲げ、三次工場をはじめ全社的な省エネ活動に引き続き努めてまいります。

■数値目標と実績

省エネ法上の目標値	三次工場での達成値
年平均 1%以上の低減 (エネルギー消費原単位)	4.8%の低減 (前年度比)

■三次工場の主な省エネ施策

- ▶ エアコンプレッサーの圧力制御
- ▶ エアコンプレッサーの更新
- ▶ 射出成形機の更新
- ▶ 照明の改善
- ▶ 蒸気ボイラーの燃焼管理

電力使用量
重油使用量の
削減!



平成23年度中国地区「省エネルギー月間」表彰式の様子

※1. 1977年以降、毎年2月に実施される国の省エネ施策の一つ。

※2. 燃料及びこれを熱源とする熱及び電気の年度の使用量が、原油換算で3,000㎏/年以上であり、所定の手続きで指定された工場をいう。

※3. エネルギー消費原単位=エネルギー使用量÷生産金額。



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

ここに、当社第47期(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)のJMS NOTESをお届けいたしますので、ご高覧いただきますようお願い申し上げます。

当社グループの業績につきましては、国内においては、新機能を搭載した血液透析装置の販売が好調に推移したことに加え、医療事故防止に貢献する「プラネクタ」を備えた輸液セットや延長チューブの販売が漸増しました。海外においては、東ヨーロッパ向けの血液バッグの販売が減少しましたが、ドイツ国内と北米でAVF針(血液透析用針)の販売が引き続き伸長した他、中国国内において人工腎臓(ダイアライザー)や人工腎臓用血液回路の販売が好調に推移しました。

この結果、連結売上高は前連結会計年度比2.7%増加の468億36百万円となりました。

利益につきましては、販売費用の効率的な

運用に努め、また、持分法適用関連会社の業績が好調に推移したことから持分法による投資利益を計上したものの、極端な為替変動の影響に加え、原材料費や労務費が増加したことから、経常利益は13億82百万円(前連結会計年度比24.6%減)となりました。また、当期純利益は、税金費用の増加等により、前連結会計年度比27.0%減の9億42百万円となりました。

期末配当金につきましては、利益配分に関する基本方針に基づき、1株につき4円とさせていただきます。これにより、年間配当金は中間配当金(1株につき4円)と合わせまして、1株につき8円となります。

当社グループを取り巻く環境は、海外においては、新興国を中心とした医療市場が拡大する中で現地及び各国メーカーによる競争が激化しています。一方、国内においては、少子高齢化の進展、国家財政及び医療保険財政の深刻化を背景に医療制度改革が継続して

実施され、今春に医療機器・材料に関する償還価格が大幅に引き下げられる等、引き続き厳しい状況が予想されます。

このような環境の中、当社グループにおきましては、「患者様第一主義」の企業理念に基づき、「医療の安全」を実現する感染・医療事故防止を目的とした製品群や、病院あるいは在宅での治療や看護を容易にする等、医療現場で求められる「医療の効率化」に貢献できる製品群の開発に引き続き注力すると共に、将来を担う「再生医療」など新規分野の製品開発についても積極的に取り組んでまいります。

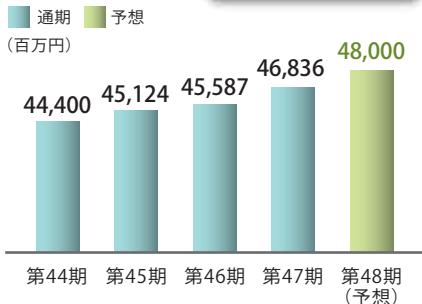
株主の皆様には、今後とも格別のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2012年 6月

株式会社 ジェイ・エム・エス
代表取締役社長 奥窪 宏章

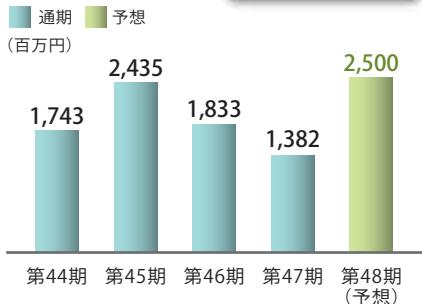
売上高

468億36百万円



経常利益

13億82百万円



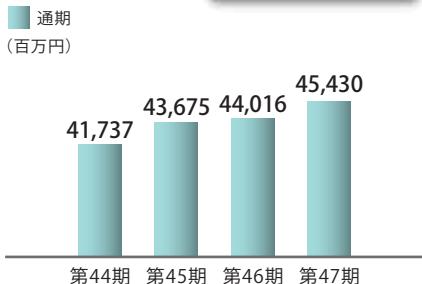
当期純利益

9億42百万円



総資産

454億30百万円



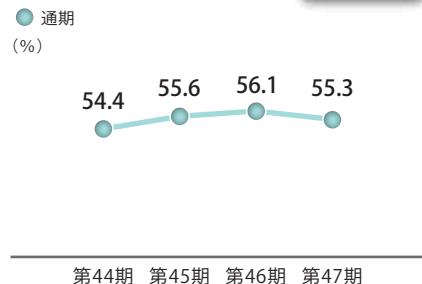
純資産

251億84百万円



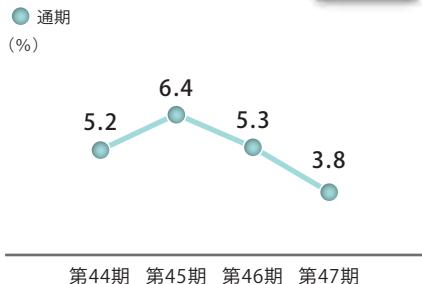
自己資本比率

55.3%



自己資本当期純利益率

3.8%



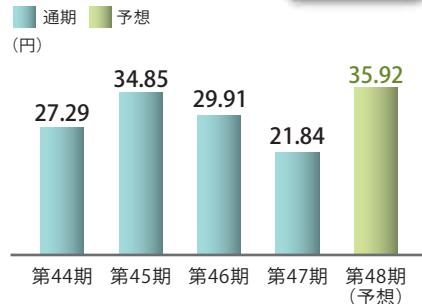
1株当たり純資産

582円24銭



1株当たり当期純利益

21円84銭



見通しに関する注意事項 第48期より、有形固定資産の償却方法を定額法に統一しております。

上記予想は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

《連結売上高構成比》

その他

輸液輸血群

透析群

一般用品群

循環器群

○

輸液輸血群

44.8%

売上高

209億69百万円

前年同期比 → **0.7%増**

国内において、輸液ポンプ「OT-800」シリーズ及びニードルレスアクセスポート「ブラネクタ」を備えた輸液セット、並びに、経腸栄養関連製品の販売が拡大しました。海外において、血液バッグや誤穿刺防止機構付き翼状針の販売が低調に推移しました。

輸液ポンプ「OT-800」シリーズ



「ブラネクタ」付輸液セット



透析群

33.7%

売上高

157億71百万円

前年同期比 → **6.4%増**

国内において、人工腎臓用血液回路やプレフィルドシリンジ製剤「ヘパフィルド」、新機能を搭載した血液透析装置の販売が増加しました。海外において、AVF針（血液透析用針）の販売が順調に推移しました。

AVF針



血液透析装置「GC-110N」

一般用品群

8.8%

売上高

41億43百万円

前年同期比 → **1.5%減**

国内において、主力である医療用手袋の競争が激化したため、販売が低調に推移しました。

医療用手袋



循環器群

9.4%

売上高

44億23百万円

前年同期比 → **3.1%増**

国内において、ペースメーカー及びその関連用品、カテーテル製品の販売が低調であったものの、人工心肺装置やプレコネクティブの人工心肺回路の販売が伸びました。

人工心肺装置



プレコネクティブ人工心肺回路

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	
	第46期 平成23年3月31日現在	第47期 平成24年3月31日現在
《資産の部》		
流動資産		
現金及び預金	4,987	3,474
受取手形及び売掛金	13,278	14,991
商品及び製品	4,484	4,800
仕掛品	1,477	1,750
原材料及び貯蔵品	2,697	2,673
繰延税金資産	261	392
その他	499	488
貸倒引当金	△ 12	△ 7
流動資産合計	27,674	28,564
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,101	3,889
その他	8,679	9,187
有形固定資産合計	12,780	13,076
無形固定資産	627	708
投資その他の資産		
投資有価証券	2,047	2,304
その他	892	781
貸倒引当金	△ 6	△ 5
投資その他の資産合計	2,933	3,080
固定資産合計	16,341	16,865
資産合計	44,016	45,430

(単位：円)

【配当金の推移】



(単位：百万円)

科 目	期 別	
	第46期 平成23年3月31日現在	第47期 平成24年3月31日現在
《負債の部》		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,919	7,271
短期借入金	3,354	3,306
1年内返済予定の長期借入金	1,405	1,235
未払金	2,264	2,450
未払法人税等	309	329
製品保証引当金	7	6
賞与引当金	760	992
資産除去債務	—	21
その他	521	852
流動負債合計	15,542	16,466
固定負債		
長期借入金	2,485	2,610
繰延税金負債	436	345
退職給付引当金	211	226
役員退職慰労引当金	28	30
資産除去債務	184	165
その他	403	400
固定負債合計	3,750	3,779
負債合計	19,292	20,245
《純資産の部》		
株主資本		
資本金	6,522	6,522
資本剰余金	9,473	9,473
利益剰余金	11,158	11,755
自己株式	△ 269	△ 270
株主資本合計	26,884	27,481
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	31
為替換算調整勘定	△2,217	△2,385
その他の包括利益累計額合計	△2,207	△2,353
少数株主持分	46	56
純資産合計	24,723	25,184
負債純資産合計	44,016	45,430

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	第46期	第47期
		平成22年4月1日～ 平成23年3月31日	平成23年4月1日～ 平成24年3月31日
売上高		45,587	46,836
売上原価		32,360	34,096
売上総利益		13,226	12,739
販売費及び一般管理費		11,519	11,687
営業利益		1,707	1,052
営業外収益		389	478
営業外費用		263	147
経常利益		1,833	1,382
特別利益		30	6
特別損失		317	88
税金等調整前当期純利益		1,546	1,299
法人税等		242	344
少数株主損益調整前当期純利益		1,304	955
少数株主利益		13	12
当期純利益		1,291	942

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	第46期	第47期
		平成22年4月1日～ 平成23年3月31日	平成23年4月1日～ 平成24年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		3,281	1,754
投資活動によるキャッシュ・フロー		△2,273	△2,605
財務活動によるキャッシュ・フロー		△552	△431
現金及び現金同等物に係る換算差額		△169	△70
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)		286	△1,352
現金及び現金同等物の期首残高		4,534	4,820
現金及び現金同等物の期末残高		4,820	3,468

■ 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により得られた資金は、17億54百万円となりました。この主な要因は、売上増加に伴う売上債権の増加によるものです。

■ 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により支出した資金は、26億5百万円となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得にかかる支出の増加によるものです。

■ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により支出した資金は、4億31百万円となりました。この主な要因は、借入金の収支差額によるものです。

連結株主資本等変動計算書 第47期(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	6,522	9,473	11,158	△269	26,884	9	△2,217	△2,207	46	24,723
当期変動額										
剰余金の配当			△345		△345					△345
当期純利益			942		942					942
自己株式の取得				△0	△0					△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						21	△168	△146	10	△135
当期変動額合計	-	-	597	△0	596	21	△168	△146	10	460
当期末残高	6,522	9,473	11,755	△270	27,481	31	△2,385	△2,353	56	25,184

(注)金額につきましては、百万円未満を切り捨てて記載しております。

会社概要

■ 当社の概要 (平成24年3月31日現在)

設立 昭和40年6月12日
 資本金 6,522,219,945円
 上場金融商品取引所 東京証券取引所市場第一部(証券コード:7702)
 主要な事業内容 医療機器、医薬品の製造・販売及び輸出並びに輸入
 従業員数 1,555人(グループ総数 4,839人)

■ 事業所等 (平成24年3月31日現在)

- 広島本社 ■ 大野工場 ■ 三次工場 ■ 出雲工場
- 東京本社 ■ 千代田工場
- 国内販売拠点: 30カ所



広島本社



東京本社(新南大井ビル)

■ 役員 (平成24年6月26日現在)

代表取締役社長	奥 隼 宏 章
専務取締役	村 上 克 宏
取締役相談役	谷 光 大 純
取締役	国 富 純
取締役	泉 和 雄
取締役	森 川 重 美
取締役	粟 根 康 浩
取締役	鈴 木 俊 弘
監査役(常勤)	林 原 康 三
監査役	早 稲 田 幸 雄
監査役	池 村 和 朗
執行役員	内 藤 雅 之
執行役員	藤 井 彰 一
執行役員	土 井 博 之
執行役員	中 西 義 彦
執行役員	岩 田 実
執行役員	近 藤 良 夫
執行役員	遠 藤 正 樹
執行役員	佐 藤 雅 文
執行役員	桂 龍 司

※鈴木俊弘氏は、社外取締役であります。
 ※林原康三氏、早稲田幸雄氏、池村和朗氏は、社外監査役であります。

■ 関係会社 (子会社及び関連会社)

	会社名	事業内容
子会社 〔国内〕	ジェイ・エム・エス・サービス株式会社	医療機器の修理等
	株式会社大野	業務請負業
子会社 〔海外〕	ジェイ・エム・エス・シンガポールPTE. LTD. [http://www.jmss.com.sg/]	医療機器・医薬品の製造・販売
	大連ジェイ・エム・エス医療器具有限公司 [http://www.jmsdl.com/]	医療機器の製造・販売
	株式会社韓国メディカル・サプライ	医療機器の製造・販売
	バイオニック・メディツインテックGmbH [http://www.bionic-jms.com/]	医療機器・医薬品の販売
	ジェイ・エム・エス・ノース・アメリカ・コーポレーション [http://www.jmsna.net/]	医療機器の販売
	P.T. ジェイ・エム・エス・パタム	医療機器の製造
関連会社 〔国内〕	株式会社ジェイ・オー・ファーマ [http://www.jo-pharma.co.jp/]	医薬品の製造・販売

(注) PT. ジェイ・エム・エス・パタムはジェイ・エム・エス・シンガポールPTE. LTD. の100%出資であり、間接保有の子会社であります。

株式概要 (平成24年3月31日現在)

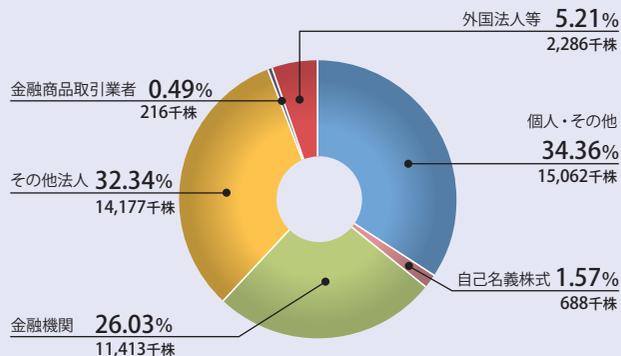
- 発行可能株式総数…… 100,000,000株
- 発行済株式総数…… 43,844,932株 (自己株式 688,242株を含む)
- 株主数…… 4,711名

■ 大株主の状況(上位10名)

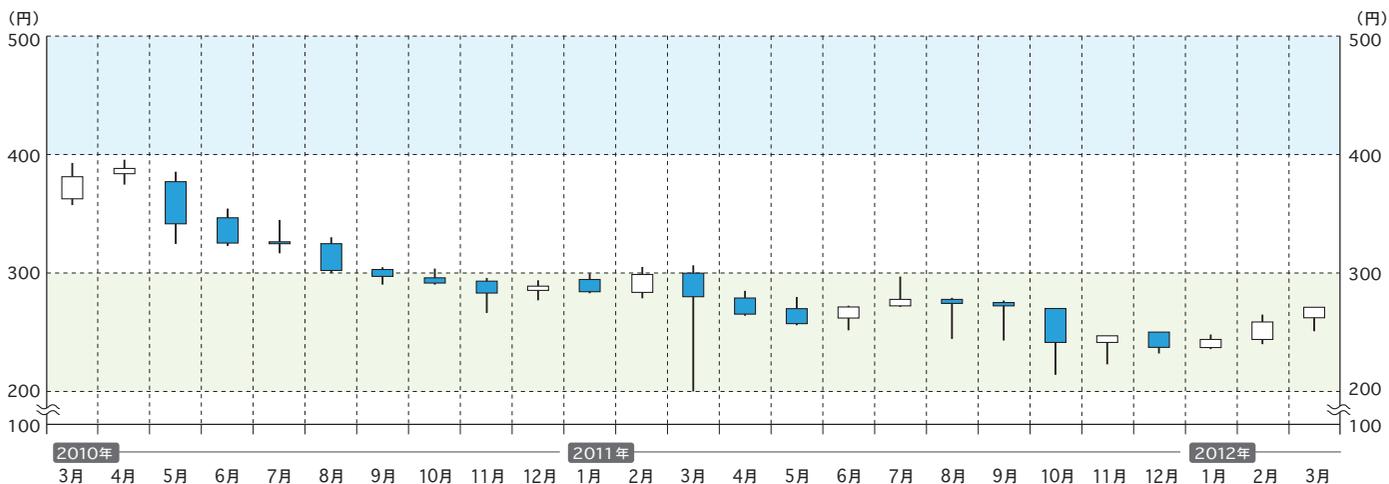
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社カネカ	4,385	10.16
財団法人土谷記念医学振興基金	3,800	8.81
土谷佐枝子	2,015	4.67
社会福祉法人千寿会	2,000	4.63
株式会社広島銀行	1,790	4.15
第一生命保険株式会社	1,722	3.99
大下産業株式会社	1,102	2.55
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	834	1.93
JMS共栄会	799	1.85
西川ゴム工業株式会社	760	1.76

(注) 持株比率は、自己株式(688,242株)を控除して計算しております。

所有者別分布状況



■ 株価推移(東京証券取引所市場第一部:7702)



株主メモ 証券コード：7702

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日までの1年
基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
Tel.0120-094-777(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

公告の方法 電子公告とする。
(<http://www.jms.cc/ir/denshi.html>)

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

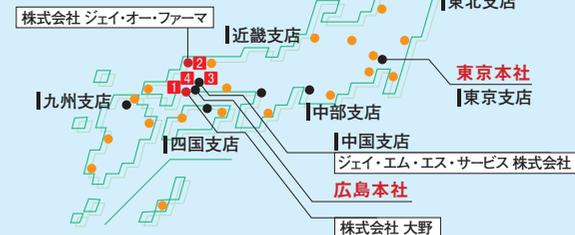
JMS Network

国内ネットワーク

地域の医療現場に密着し、きめ細やかなサービスを提供するために事業所間のネットワークをオンラインで結び、効率的な運営を推進しています。

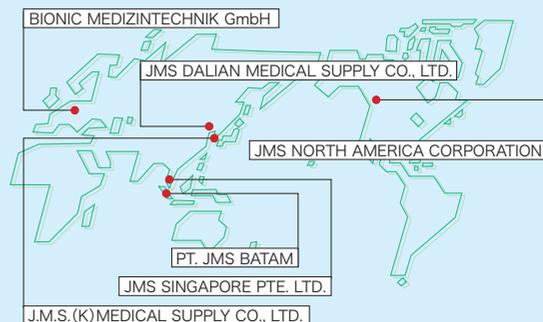
工場拠点

- 1 大野工場 2 出雲工場 3 三次工場
- 4 千代田工場
- 本・支店 ● JMS事業所



海外ネットワーク

世界数十カ国に製品を販売し、各国で高い評価を受けています。また、韓国・シンガポール・中国・インドネシアに海外生産拠点を設置し、技術・人材レベルの交流のなか、医療による国際貢献を図っています。



株式会社 JMS

広島本社

〒730-8652 広島市中区加古町12番17号
TEL 082-243-5844 FAX 082-243-5997

東京本社

〒140-0013 東京都品川区南大井一丁目13番5号 新南大井ビル
TEL 03-6404-0600 FAX 03-6404-0610

ホームページ

<http://www.jms.cc/>

【表紙デザイン】



テーマ「チャレンジ精神と向上心」

太陽に向かい手を伸ばす人は、情熱を持って新しい事や、困難な事にチャレンジしようとする強い意思を表現。

木のモチーフには、健康的に日々成長し続けようとする前向きな気持ちをメッセージとして込めています。